第11回 The 11th Annual Meeting of Japanese Society of Drug Safety
日本医薬品安全性学会学術大会

プログラム・抄録集

会期 2025年 8月2日(土)～3日(日)

会場 名古屋コンベンションホール
〒453-6102 愛知県名古屋市中村区平池町4-60-12 グローバルゲート

大会長 山田 成樹
藤田医科大学 医学部 薬物治療情報学講座 教授
藤田医科大学病院 薬剤部 部長

医薬品安全性を極めよう!
～Be The Best Safety～



第11回 The 11th Annual Meeting of Japanese Society of Drug Safety

日本医薬品安全性学会学術大会

医薬品安全性を極めよう!

～Be The Best Safety～

会期 2025年 8月2日(土)～3日(日)

会場 **名古屋コンベンションホール**
〒453-6102 愛知県名古屋市中村区平池町 4-60-12 グローバルゲート

大会長 **山田 成樹**
藤田医科大学 医学部 薬物治療情報学講座 教授
藤田医科大学病院 薬剤部 部長

後援：一般社団法人 愛知県病院薬剤師会
岐阜県病院薬剤師会
三重県病院薬剤師会
静岡県病院薬剤師会

https://c-bind.jp/jasds2025/

INDEX

第11回日本医薬品安全性学会学術大会
開催にあたって …… 1

組織委員・実行委員 …… 2

交通アクセス図 …… 3

会場案内図 …… 4

参加者の皆様へ …… 5

座長・演者の皆様へ …… 10

日　程　表 …… 12

プログラム …… 14

抄　　録

- 理事長講演 …… 30
- 教 育 講 演 …… 31
- シンポジウム …… 36
- ランチョンセミナー …… 66
- スポンサードセミナー …… 73
- スイーツセミナー …… 79
- BP 賞候補演題抄録 …… 82
- 一般演題抄録 …… 86

筆頭演者索引 …… 96

協賛企業・団体一覧 …… 98

第11回日本医薬品安全性学会学術大会
開催にあたって

第11回日本医薬品安全性学会学術大会

大会長　**山田 成樹**

藤田医科大学 医学部 薬物治療情報学講座 教授
藤田医科大学病院 薬剤部 部長

この度、第11回日本医薬品安全性学会学術大会を2025年8月2日（土）～3日（日）に名古屋にて開催することとなりました。

日本医薬品安全性学会は、「医薬品安全性学の実践を通して医薬品の安全性の向上に寄与する」ことを理念とし、2014年5月に設立されました。2015年には薬剤師を対象とした認定制度（医薬品安全性指導者（DSSP）、医薬品安全性専門薬剤師（DSD））および2018年には製薬会社における医療関係者を対象とした専門制度（医薬品安全性情報スペシャリスト（CDSIS））を創設し、医薬品安全性に更に貢献できる医療人の育成に尽力してまいりました。

第11回大会のテーマは「医薬品安全性を極めよう！ ～Be The Best Safety～」とさせていただきました。昨今、医薬品の供給問題や安全性に関する事象が数多く報告されており、医薬品の安全性について更に追求していかなければならないと感じています。そして、有効性と有害事象は表裏一体のものであり、いかに有害事象を押さえながら最大の効果を出していくのかも要だと考えています。そのため、シンプルに医薬品の安全性を極める大会にしていきたいと考えテーマとさせていただきました。

本学術大会におきまして、製薬企業の方々と共に、数多くの医療職と医薬品の有害事象における発生原因、対応策、および臨床における適正な医薬品の使用を議論し、更に医薬品の安全性の向上に努めていきたいと考えております。

是非この機会に名古屋にお越しいただき、熱い議論を繰り広げていただきますとともに、名古屋めしなどをご堪能いただければと存じます。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

組織委員・実行委員

大 会 長	山田　成樹	藤田医科大学病院 薬剤部／ 藤田医科大学 医学部 薬物治療情報学講座
事務局長	加藤さや香	藤田医科大学病院 薬剤部
組織委員	渡邉　　学	静岡県病院薬剤師会 会長 社会医療法人駿甲会 コミュニティーホスピタル甲賀病院 医療技術部
	鈴木　昭夫	岐阜県病院薬剤師会 会長 岐阜大学医学部附属病院 薬剤部
	岩本　卓也	三重県病院薬剤師会 会長 三重大学医学部附属病院 薬剤部
実行委員	成瀬　徳彦	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 薬剤部
	瀧　　祐介	菊川市立総合病院 診療技術部 薬剤科
	小林　　亮	岐阜薬科大学 先端医療薬学研究室
	高井　　靖	三重ハートセンター 診療支援部

交通アクセス図



会場：**名古屋コンベンションホール**

愛知県名古屋市中村区平池町4-60-12　グローバルゲート2F-4F
あおなみ線「ささしまライブ駅」から歩行者デッキにて2Fエントランスに直結

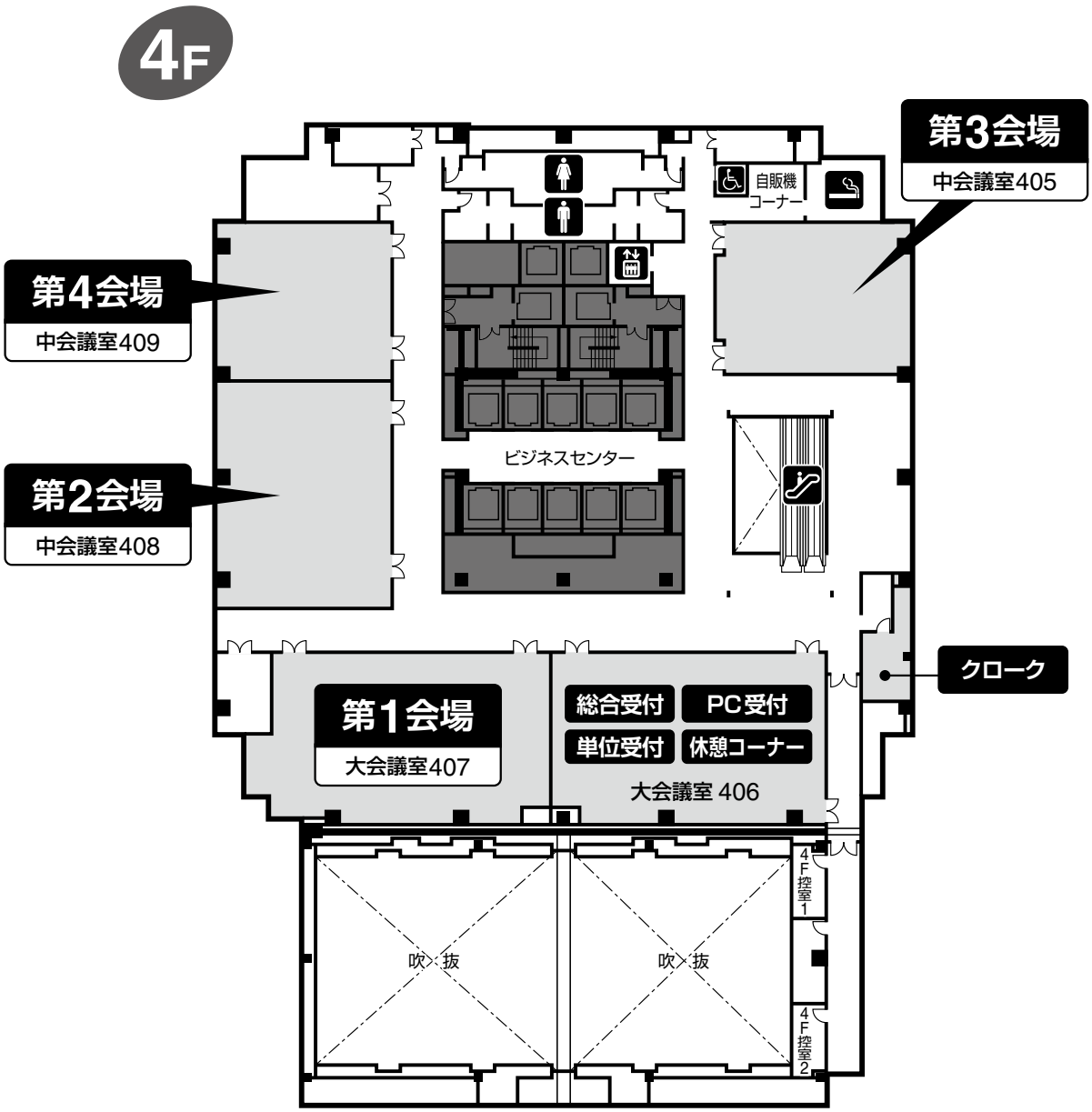
JR名古屋駅からのアクセス

●**あおなみ線利用** …… JR「名古屋」駅から3分「ささしまライブ駅」下車

●**ささしまウェルカムバス利用**…… 「名古屋駅（ミッドランドスクエア前）」から4～8分
「グローバルゲート南駅」下車

●**徒　歩** …… 広小路口から徒歩12分

会場案内図


4F
第3会場
中会議室405
自販機
コーナー
第4会場
中会議室409
ビジネスセンター
第2会場
中会議室408
クローク
第1会場
大会議室407
総合受付
PC受付
単位受付
休憩コーナー
大会議室 406
吹抜
吹抜
4F控室1
4F控室2

参加者の皆様へ

本会ではクールビズを実践いたしますので、上着・ネクタイを着用せず、軽装でお越しください。
学会スタッフもクールビズとさせていただきます。

開催形式

現地開催と一部プログラム（理事長講演・教育講演・シンポジウム）のオンデマンド配信
※ライブ配信はございません。

参加登録方法

参加登録は「オンライン参加登録」のみとなります。
お手持ちの PC、スマートフォンよりオンラインでのお申込み・決済をお願いいたします。
会場受付での現金決済は行いませんので、当日登録の方にも会場受付にて参加登録システムに必要事項を入力いただき、クレジットカード決済で参加費をお支払いいただくこととなります。

参加受付

■ 受付時間

2025年8月2日（土）9:30～17:00

2025年8月3日（日）8:30～13:30

名古屋コンベンションホール 4階 大会議室406にて受付を行います。

■ 参 加 費

- **早期登録**：2025/5/7日（水）～6/30（月）23:59
- **後期・当日・オンデマンド登録**：2025/7/1（火）～8/31（日）23:59

参加区分	早期登録費（5/7～6/30）	後期・当日・オンデマンド登録費（7/1～8/31）	※必要書類
会　員	8,000円	10,000円	
非会員	10,000円	12,000円	
学生 会　員	1,000円	2,000円	※学生証
学生 非会員	1,000円	2,000円	※学生証

※参加費の消費税取り扱いについて：会員／不課税、非会員／課税（税込）となります。

ネームカード・参加証明書について

会場内では必ず着用してください。ネームカードを着用されていない方のご入場は、ご遠慮願います。

■ 参加登録がお済みの方

会期1週間前を目途に、マイページより印刷可能となります。ご自身で印刷のうえ、当日お持ちください。名札ケースは会場にご用意しております。

■ 当日登録をされる方

PC・スマートフォンなどでご登録いただき、総合案内「当日登録窓口」にてお名前をお伝えください。

領 収 書

お支払い完了後、マイページにてダウンロードいただけます。
デジタル版のみの発行となります。紙媒体での発行や郵送はございませんのでご了承ください。
期間内に、必ずご自身で発行いただきますよう、お願い申し上げます。

プログラム・抄録集

PDF 版を参加登録システムのマイページよりダウンロードいただけます。
冊子版は、当日会場でお渡しいたします。
追加の抄録集をご購入希望の方には、総合案内にて1冊2,000円にて販売いたします。

【会員】プログラム・抄録集事前発送のとりやめについて

会員へのプログラム・抄録集の事前送付でございますが、諸事情により発送をとりやめることとなりました。
HP の「会員プログラム･抄録集ダウンロード」より PDF データにて取得をお願い申し上げます。
尚、学術大会参加者の方には当日会場で冊子をお渡します。
日本医薬品安全性学会事務局より、プログラム・抄録集 PDF 版の閲覧パスワードをお送りいたします。

単位認定

1. 日本医薬品安全性学会の認定単位

医薬品安全性専門薬剤師、医薬品安全性指導者、医薬品情報スペシャリストの認定単位が取得できます。

●本学会参加　10単位
※詳細は本学会ホームページの認定・専門制度をご確認ください。

2. 日本病院薬剤師会病院薬学認定薬剤師制度の単位について

●**単位数**：8月2日（土）　3単位
　　8月3日（日）　2単位

※日病薬クラウド型会員管理システムに薬剤師名簿登録番号が登録されていない場合や、正しくない場合、単位は付与されません。
日病薬トップページから会員管理システムにログインし、登録情報に誤りが無いか事前にご確認ください。

※日本病院薬剤師会病院薬学認定薬剤師制度と日本薬剤師研修センターの重複した申請はできません。

※重複申請を確認した場合には、該当するすべての申請を却下いたします。

1）単位を希望される方は、参加登録システムより事前に単位申し込みをお願いいたします。

2）学会が開始となりましたら、当日配布する「入場キーワード」および「退場キーワード」を指定フォームに入力していただくことで、単位申請を受け付けます。
配布場所・時間は以下のとおりです。

3）各開催日ごとの単位申請（キーワード送信）が必要です。
1日目の申請は、8月3日（日）23:59まで、2日目の申請は8月4日（月）23:59までとなります。この期間終了後の申請は一切できません。

4）参加登録システムからの単位申し込み状況と入退室時のキーワード入力状況を照合し、一致した場合のみ単位付与を行います。単位のお申し込み、キーワードの入力は1日分ごとに必要です。

【キーワード配布場所】 4F「日病薬病院薬学認定薬剤師制度単位受付」

8月2日（土）入場キーワード配布　9:30～10:30
退場キーワード配布　18:50～19:10

8月3日（日）入場キーワード配布　8:30～ 9:30
退場キーワード配布　15:20～15:50

◎配布するキーワードの紙にQRコードが付いていますので、そちらよりGoogleフォームへアクセスし、各日、入退場それぞれのキーワードを送信してください。
その際、「薬剤師名簿登録番号」の入力も必須です。

3. 日本病院薬剤師会専門薬剤師・認定薬剤師認定制度の受講証明書について

下記のセッションについては、日本病院薬剤師会専門薬剤師・認定薬剤師認定制度の対象セッションとなります。
認定（更新）申請される方は、セッション開始前に会場前で「認定専門単位引換証」をお受け取りの上、セッション終了後に「認定専門単位引換証」を会場出口にてご提出ください。引き換えに「講習会受講証」をお渡しいたします。
再発行は行いませんので、予めご了承ください。

領　域	セッション	日　時	単位数
感染制御領域	シンポジウム2	8月2日（土）10:40～12:10	0.75
妊婦・授乳婦領域	シンポジウム4	8月2日（土）13:30～15:30	1

4. 日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度の単位について

●**単位数**：8月2日（土）　3単位
8月3日（日）　2単位

※日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度の単位は日病薬病院薬学認定薬剤師制度の単位と重複して取得することができません。

日本薬剤師研修センターの「研修認定薬剤師制度」研修受講単位は「薬剤師研修・認定電子システム（PECS）」での管理となりますので、学術大会の参加登録とは別に、PECSへの登録が必要です。
研修受講単位の付与を希望される方は、必ず大会開催日までに登録をお済ませください。
各日の参加条件を満たさない場合は、その日の単位は付与されませんので十分に注意してください。

【重　要】

参加の確認は、QRコードでの入場、退場の受付時刻で管理します。薬剤師研修・認定電子システム（PECS）のQRコードを必ず持参してください。
受付システムの稼働時間は下記の通りとなりますので、研修単位を希望する参加者は時間厳守でお願いいたします。なお、受付終了間際の時間は混雑が予想されますので、時間に余裕をもって受付をしてください。

【認定電子システム（PECS）の QR コード掲示場所】

4F「日本薬剤師研修センター受講単位受付」

8月2日（土）入場確認　9：30～10：30
退場確認　18：50～19：10

※懇親会参加予定者は、懇親会開始前に QR コードによる退場をお済ませください。

8月3日（日）入場確認　8：30～ 9：30
退場確認　15：20～15：50

※当日分のみの受付を行います。2日間の単位を取得するためには両日とも入場・退場受付を行ってください。

懇 親 会

日　時：8月2日（土）19：30～

会　場：名古屋プリンスホテルスカイタワー31階 Sky Dining 天空

会　費：4,500円（不課税）

定　員：80名（定員に達し次第、締切となります。）

※事前申込制となります。

ランチョンセミナー、スイーツセミナーについて

申込締切：7月22日（火）23：59

※フードロス削減の取り組みとして、予約分のお食事をご用意いたします。

※予定席数が埋まり次第、受付は終了となります。

※事前申込の無い方は、当日空席があれば聴講は可能ですが、お食事のご用意はございませんので、ご留意ください。

クローク

開設時間：2025年8月2日（土）9：30～19：00
2025年8月3日（日）8：30～16：00

場　　所：名古屋コンベンションホール4F クローク

※貴重品のお預かりはできません。各自で管理をお願いいたします。

理 事 会

社員総会を8月2日（土）9：00～ 第1会場にて開催いたします。

認定試験

令和7年度日本医薬品安全性学会認定試験を8月3日（日）13：45～14：45に第5会場（2F 小会議室211）にて実施しますので、受験予定者は13：30までに入室してください。

そ の 他

- **質疑応答について**

  質問・発言を希望される方は、予めマイクの前で待機してください。
  座長の指示に従い、所属・職種・氏名を述べてからご発言ください。

- **会場内撮影について**

  原則として、撮影は禁止しております。
  ※プレスや事務局から手配している定点カメラが記録のため入ります。予めご了承下さい。

- **落とし物について**

  落とし物が届いた場合は、受付にてお預かりします。

- **会場内の呼び出しについて**

  原則として、会場内の呼び出しはいたしません。

座長・演者の皆様へ

座長の皆様へ

1) 担当セッションの開始15分前までに、会場内右前方の「次座長席」にご着席ください。

2) 担当セッションの進行は、座長に一任いたしますが、終了時間は厳守をお願いいたします。

演者の皆様へ

1. 発表時間

1) **一般演題**　発表8分、質疑4分

2) **指定演題**　予めお伝えした時間でお願いします。

2. 発表データ作成について

- 発表スライドは Microsoft PowerPoint 2013以降（Windows）でご作成ください。
- 会場に用意致します PC の OS は Windows10です。
- 文字フォントは標準で装備されているものをご利用ください。
- スライドのサイズは16：9を推奨します。
- 発表者ツールはご使用できません。
- 次演者席を設けますので、前演者が登壇されましたら次演者席にお越しください。
- 演台上にはモニター、マウスが用意してありますので、操作は演者自身でお願いします。
- 動画をご使用になる場合はご自身の PC 本体のご持参を推奨いたします。
- Macintosh をご使用の場合は、PC 本体を必ずご持参ください。

【PC お持ち込みの際の注意点】

- あらかじめ PC 本体のパスワード、スクリーンセーバー、省電力機能、ウイルスソフト等が作動しないよう、設定してください。
- バックアップデータとして、発表データの入った USB フラッシュメモリを会場に携行願います。
- 会場で用意する PC ケーブルコネクタの形状は、HDMI です。この形状に変換するコネクタを必要とする場合には、必ずご自身でお持ちください。

3. 発表データ（PowerPoint）事前提出のお願い

本学術大会では、学会当日の PC 受付の混雑緩和のため、発表スライドデータの事前登録を推奨しております。
ご理解の上、ご協力をお願いいたします。
詳細は HP をご覧ください。

【PC 受付】

会期中、PC 受付を一部設置します。発表データの差し替えに（発表予定時刻の1時間前まで、早朝発表者は30前）対応いたします。

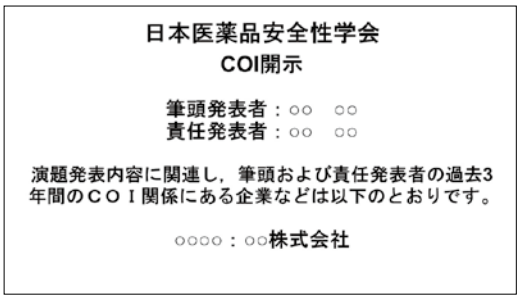
4. COI の自己申告について

COI 自己申告の指針（下記）に基づき利益相反に関するスライドを発表の2枚目に示してください。利益相反がない場合は様式 A、利益相反がある場合は関係企業・団体名を明記して様式 B のスライドを入れてください。



様式 A





様式 B

「日本医薬品安全性学会利益相反（COI）に関する指針」

①**講 演 料**：1つの企業・団体から年間合計50万円以上とする。

②**原 稿 料**：1つの企業・団体から年間合計50万円以上とする。

③**報 酬 額**：1つの企業・団体から年間100万円以上とする。

④**株式保有・利益**：1つの企業から年間100万円以上、あるいは該当株式の5% 以上保有とする。

⑤**特許使用料**：1つにつき年間100万以上とする。

⑥**受託研究・共同研究**：1つの企業・団体から研究経費を共有する所属部局（講座、分野あるいは研究室など）に支払われた研究費・助成金などの年間総額200万円以上とする。

⑦**奨学（奨励）寄付金**：1つの企業・団体から奨学寄付金を共有する所属部局（講座、分野あるいは研究室など）に支払われた年間総額200万円以上とする。

⑧**寄付講座**：企業などからの寄附講座に所属している場合は記載する。

⑨**そ の 他**：研究とは直接無関係な旅行、贈答品などの提供については、1つの企業・組織や団体から受けた総額が年間5万円以上とする。

1日目 2025年8月2日(土)

第1会場 (4F 大会議室407)

9:00〜10:00
社員総会

10:00〜 **開会式**

10:05〜10:35
理事長講演

10:40〜12:04
BP賞候補演題
座長：牧田 亮、小林 亮

12:20〜13:20
ランチョンセミナー1
薬剤師外来 irAEマネジメントと医療用アプリ
座長：池末 裕明
演者：松田 日出三、桂 英之
共催：中外製薬㈱

13:30〜15:30
シンポジウム3
ちょっと先の未来地図
―デジタルとAIが拓く 薬剤師業務の新知識と挑戦―
オーガナイザー：高畠 啓輔
座長：桂 英之、平川 大輔
演者：桐生 嘉浩、植沢 芳広、長谷川 佳孝、岩西 雄大

15:40〜16:40
スポンサードセミナー1
皮脂欠乏症を発症する要因と治療の重要性
座長：渡邉 学　演者：大井 一弥
共催：マルホ㈱

16:50〜18:50
シンポジウム5
医療DX時代到来！！ 医薬品安全にデジタル技術をどう活用していくか？
オーガナイザー：荒川 隆之
座長：瀧 祐介、荒川 隆之
演者：近藤 悠希、神崎 浩孝、荒川 隆之、渡邉 学、筒井 剛

第2会場 (4F 中会議室408)

日本医薬品安全性学会の未来に向けて
―これまでの発展と今後の展望―
座長：今給黎 修
演者：佐藤 光利

10:40〜12:10
シンポジウム1
9月30日を医薬品安全性の記念日にしよう！
―身近な医薬品から患者を守るには―
オーガナイザー：髙柳 和伸
座長：髙柳 和伸、月岡 良太
演者：松浦 克彦、松田 翔平、持田 知志

12:20〜13:20
ランチョンセミナー2
アップグレードした疼痛治療を目指す
～タリージェOD錠の製剤設計とICサポート～
座長：高井 靖　演者：並木 徳之
共催：第一三共㈱

13:30〜15:30
シンポジウム4
各種診療ガイドラインを周産期薬物治療に活かす
オーガナイザー：小原 拓
座長：鈴木 俊治、薄井 健介
演者：小原 拓、鈴木 俊治、鈴木 映二、土屋 雅美、土屋 貴

15:40〜16:40
スポンサードセミナー2
ループス腎炎診療の視点から再考するカルシニューリン阻害薬(CNI)の有効性と安全性
座長：木全 司　演者：林 宏樹
共催：㈱大塚製薬工場

16:50〜17:50
教育講演3
有害事象自発報告ビッグデータを用いた医薬品適正使用に係る研究
座長：髙柳 和伸
演者：中村 光浩

第3会場 (4F 中会議室405)

10:40〜12:10
シンポジウム2
感染症治療薬の安全対策
―症例から見えてきた問題点への対応―
オーガナイザー：岡田 賢二
座長：岡田 賢二、大石 智洋
演者：岡田 賢二、平野 公基、大石 智洋、上田 真也

12:20〜13:20
ランチョンセミナー3
がん薬物療法の安全性を極める
～患者とスタッフの双方を守る視点～
座長：岩本 卓也　演者：野村 久祥
共催：ニプロ㈱

13:30〜14:30
教育講演1
薬物と性差
座長：佐藤 由美子
演者：黒川 洵子

14:30〜15:30 **教育講演2**
生体における亜鉛の重要性
～疾患の発症との関連・治療／予防への応用～
座長：佐藤 光利
演者：西田 圭吾

15:40〜16:40
スポンサードセミナー3
バイオシミラー(バイオ後続品)への切り替え促進の取り組み ～障害となった問題と対応策～
座長：成瀬 徳彦　演者：日比 陽子
共催：日本化薬㈱

16:50〜17:50
スイーツセミナー
してる"つもり"では守れない：抗がん薬曝露の最前線 ～医療者と患者家族を見えないリスクから守るために～
座長：鈴木 昭夫　演者：前田 章光
共催：東和薬品㈱

18:00〜18:48 **一般演題7**
薬剤疫学、副作用、使用状況調査、データベース研究、ベネフィット・リスク評価研究③
座長：山中 規明、高橋 由加利

第4会場 (4F 中会議室409)

10:10〜10:58
一般演題1
その他①
座長：山﨑 直子、渡邉 学

10:58〜12:10
一般演題2
症例検討（有害事例、回避事例、等）
座長：藤谷 憲一、瀧 祐介

13:30〜14:30
一般演題3
安全対策・管理（薬局、調剤・注射、製剤、病棟、外来、等）
座長：安田 浩二、西田 承平

14:30〜15:18 **一般演題4**
薬剤疫学、副作用、使用状況調査、データベース研究、ベネフィット・リスク評価研究①
座長：木村 謙吾、奥平 正美

16:50〜17:38 **一般演題5**
薬剤疫学、副作用、使用状況調査、データベース研究、ベネフィット・リスク評価研究②
座長：梶間 勇樹、谷口 賢二

17:38〜18:50
一般演題6
その他②
座長：田宮 真一、手塚 剛彦

19:30〜21:00
懇親会（会場：名古屋プリンスホテル スカイタワー31階 Sky Dining 天空）

2日目　2025年8月3日(日)

第1会場	第2会場	第3会場	第4会場
4F 大会議室407	4F 中会議室408	4F 中会議室405	4F 中会議室409

第1会場（4F 大会議室407）

9:30～11:00
シンポジウム6
探索から検証へ
～副作用データベースにおける実践的アプローチ～
オーガナイザー：菅　裕亮
座長：濃沼 政美、菅　裕亮
演者：濃沼 政美、菅　裕亮、岡田 直人、濱野 裕章

11:05～12:05
スポンサードセミナー4
バイオシミラーの理解・使用促進に向けた展望と課題
座長：外山　聡
演者：内田 まやこ
共催：サンド㈱

12:15～13:15
ランチョンセミナー4
レカネマブ投与におけるシステム構築と意思決定支援について
～当院の取り組みを踏まえて～
座長：加藤 さや香
演者：野々垣 禅
共催：エーザイ㈱

13:20～15:20
シンポジウム8
認知症薬物治療のアップデート
―薬物治療の適正化を思考して―
オーガナイザー：薄井 健介、三輪 高市
座長：山田 和男、三輪 高市
演者：三輪 高市、別所 千枝、和田 智仁、中村 友喜

15:20～　**閉 会 式**

第2会場（4F 中会議室408）

9:30～11:00
シンポジウム7
研究者と現場薬剤師のI型・T型・H型人材が協働するとどうなる？
～帯状疱疹治療薬の安全性を極める！
オーガナイザー：杉山 奈津子、小茂田 昌代、岸　達生
座長：出雲 貴文、岸　達生
演者：頓宮 美樹、宗像 千恵、小茂田 昌代、長澤 宏之、杉山 奈津子

11:05～12:05
スポンサードセミナー5
集中治療室における薬剤師の役割とその重要性：チーム医療の中の欠かせない存在へ
座長：小林 亮
演者：原 嘉孝
共催：旭化成ファーマ㈱

12:15～13:15
ランチョンセミナー5
安全性をどう守る？
多発性骨髄腫治療と薬剤師の臨床力
座長：高見 昭良
演者：池末 裕明
共催：富士製薬工業㈱

13:20～15:20
シンポジウム9
一つ一つの薬を評価する、それが私たちの使命です！
～ポリファーマシー解消の第一歩～
オーガナイザー：廣田　憲威
座長：山﨑 美保、神原 弘恵
演者：杉本　陵、柳下 博信、佐古 守人、武藤 浩司

第3会場（4F 中会議室405）

9:00～10:00
教育講演4
薬剤師に期待する：Pharmacist/Scientistの視点を持つ
座長：山田 成樹
演者：鍋島 俊隆

10:00～11:00
教育講演5
医薬品の安全性データを読み解く
―臨床試験、疫学研究、そして実臨床でできること―
座長：古関 竹直
演者：中林 哲夫

11:05～12:05
スポンサードセミナー6
わが国の安全保障と医薬品
演者：田前 雅也
共催：Meiji Seika ファルマ㈱

12:15～13:15
ランチョンセミナー6
粉砕不適薬剤の粉砕を未然に回避するための取り組みと解決
～多職種の職能・専門性・想いを相互に理解し合う連携のコツ～
座長：瀧　祐介
演者：鈴木 慶介
共催：日医工㈱

プログラム

第1日目　2025年8月2日（土）

第1会場（4F 大会議室407）

理事長講演　10：05～10：35

座長：今給黎 修（福岡大学 薬学部 病院薬学教室、福岡大学筑紫病院 薬剤部）

CL　**日本医薬品安全性学会の未来に向けて**
―これまでの発展と今後の展望―

佐藤 光利（日本医薬品安全性学会 理事長、明治薬科大学 医薬品安全性学）

BP 賞候補演題　10：40～12：04

座長：牧田 亮（岐阜県総合医療センター 薬剤部）
小林 亮（岐阜薬科大学 先端医療薬学研究室）

BP-1　クロザピンによる抗精神病薬多剤併用と痙攣発症：
FDA 有害事象自発報告システムを用いた安全性シグナル評価

吉原 希　藤田医科大学 医学部 薬物治療情報学講座

BP-2　小児炎症性疾患におけるメトトレキサートの肝機能障害リスク：
リアルワールドデータを用いた自己対照研究

中國 正祥　国立成育医療研究センター 臨床研究センター、昭和薬科大学 社会薬学研究室

BP-3　高濃度カリウム製剤による医療事故防止を目指した輸液中 ^{40}K 定量法の開発

栄井 修平　兵庫医科大学 薬学部

BP-4　データ抽出ツールを活用した生理学的薬物速度論モデル解析

吉年 勉　兵庫医科大学大学院 薬学研究科、市立ひらかた病院 薬剤部

BP-5　JADER を用いた抗生剤による薬物性肝障害に対する
ウルソデオキシコール酸投与の発症予防効果を検討

追川 俊哉　東京ベイ・浦安市川医療センター 薬剤室

BP-6　薬剤師による造影剤副作用情報の管理体制の整備

荒木 良介　大和市立病院 薬剤科

BP-7　漢方薬とインテグラーゼ阻害薬の吸収過程における薬物相互作用の可能性；
多価金属含有量を加味した検討

山内 萌子　東邦大学 薬学部 実践医療薬学研究室

ランチョンセミナー1　12：20～13：20

座長：池末 裕明（名古屋大学医学部附属病院 薬剤部 教授）

薬剤師外来　irAE マネジメントと医療用アプリ

LS1-1　薬剤師外来と医療用アプリを活用した有害事象マネジメント
～irAE 早期発見・対応事例～

松田 日出三　藤田医科大学病院 薬剤部 係長

LS1-2　デジタルツールを用いた irAE マネジメント ～ePRO×薬剤師外来の有用性～

桂 英之　国民健康保険 小松市民病院 薬剤科 主査

共催：中外製薬株式会社

シンポジウム3　13：30～15：30

オーガナイザー：高畠 啓輔（河北総合病院 薬剤部）

座長：桂 英之（国民健康保険小松市民病院 薬剤科）
平川 大輔（札幌心臓血管クリニック 薬剤科）

ちょっと先の未来地図 ―デジタルと AI が拓く薬剤師業務の新知識と挑戦―

SY3-1　医療 DX と AI が創る医療・薬学の現在と未来

桐生 嘉浩　株式会社メディカスタッフプロモーション
医療情報／医薬品情報システム開発室

SY3-2　副作用データベース解析における AI 技術の活用

植沢 芳広　明治薬科大学 医療分子解析学研究室

SY3-3　保険薬局における DX 推進について

長谷川 佳孝　株式会社アインホールディングス 医療連携学術部

SY3-4　病院でのデジタルや AI の活用体験

岩西 雄大　医療法人嘉健会 思温病院

スポンサードセミナー1　15：40～16：40

座長：渡邉 学（社会医療法人駿甲会 コミュニティーホスピタル 甲賀病院 医療技術部 部長）

SS1　皮脂欠乏症を発症する要因と治療の重要性

大井 一弥（鈴鹿医療科学大学 薬学部 臨床薬理学研究室 教授）

共催：マルホ株式会社

シンポジウム5　16：50～18：50

オーガナイザー：荒川 隆之（医療法人長久堂野村病院 薬剤科）

座長：瀧 祐介（菊川市立総合病院 薬剤科）
荒川 隆之（医療法人長久堂野村病院 薬剤科）

医療 DX 時代到来！！
医薬品安全にデジタル技術をどう活用していくか？

SY5-1　薬局薬剤師視点での医療 DX ツールの開発と社会実装
―腎排泄型薬剤処方監査支援システムを中心に―

近藤 悠希　熊本大学大学院 生命科学研究部 薬物治療設計学分野（臨床薬理学）

SY5-2　医薬品安全のための情報の蓄積と共有
―デジタルプラットフォーム AI-PHARMA の活用―

神崎 浩孝　木村情報技術株式会社

SY5-3　医薬品安全の視点から電子処方箋の活用を考える

荒川 隆之　医療法人長久堂野村病院 薬剤科

SY5-4　医療 DX 時代の外来連携における薬剤師の役割とリフィル処方箋の可能性

渡邉 学　社会医療法人駿甲会 法人本部、
社会医療法人駿甲会 コミュニティーホスピタル甲賀病院

SY5-5　オンライン服薬指導サービスにおける医薬品安全性
―Amazon ファーマシーの取り組み―

筒井 剛　アマゾンジャパン合同会社 消費財事業本部

第2会場（4F 中会議室408）

シンポジウム1　10：40～12：10

オーガナイザー：髙柳 和伸（倉敷中央病院 薬剤本部）

座長：髙柳 和伸（倉敷中央病院 薬剤本部）
月岡 良太（株式会社アインホールディングス 医療連携学術部）

9月30日を医薬品安全性の記念日にしよう！
―身近な医薬品から患者を守るには―

SY1-1　“売って終わり”にしないセルフメディケーション（OTC医薬品）
～薬剤師が関わる服薬後フォローの可能性～

松浦 克彦　愛知学院大学 薬学部 医療薬学講座

SY1-2　アシクロビル脳症の予防・早期発見のために薬剤師ができること
―院内での血中濃度測定の有用性―

松田 翔平　独立行政法人労働者健康安全機構 中国労災病院 薬剤部

SY1-3　SGLT2阻害薬によるinitial dip誘発に関連するリスク因子の考察と臨床で着目すべきポイント

持田 知志　新潟医療生活協同組合木戸病院 薬剤部

ランチョンセミナー2　12：20～13：20

座長：高井 靖（三重ハートセンター 診療支援部長）

LS2　**アップグレードした疼痛治療を目指す**
～タリージェOD錠の製剤設計とICサポート～

並木 徳之（帝京平成大学 薬学部 物理薬剤学ユニット 教授、
静岡県立大学 名誉教授・客員教授）

共催：第一三共株式会社

シンポジウム4　13：30～15：30

オーガナイザー：小原 拓（東北大学病院 薬剤部）

座長：鈴木 俊治（日本医科大学 産婦人科）
薄井 健介（東北医科薬科大学薬学部病院 薬剤学教室）

各種診療ガイドラインを周産期薬物治療に活かす

SY4-1　各種診療ガイドラインにおける周産期薬物治療の記載

小原 拓　東北大学病院 薬剤部

SY4-2　産婦人科診療ガイドラインを周産期薬物治療に活かす

鈴木 俊治　日本医科大学 産婦人科

SY4-3　「こころの不調や病気と妊娠・出産のガイド（一般向け）」を周産期薬物治療に活かす

鈴木 映二　東北医科薬科大学 医学部 精神科学教室

SY4-4　小児・AYA 世代がん患者等の妊孕性温存に関する診療ガイドライン（改訂第2版）を周産期薬物治療に活かす

土屋 雅美　慶應義塾大学 薬学部 医薬品情報学講座

SY4-5　生物学的製剤を使用するような疾患の診療ガイドライン等を周産期薬物治療に活かす

土屋 貴　地方独立行政法人福岡市立病院機構 福岡市立こども病院 薬剤部

スポンサードセミナー2　15：40～16：40

座長：木全 司（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院）

SS2　ループス腎炎診療の視点から再考するカルシニューリン阻害薬（CNI）の有効性と安全性

林 宏樹（藤田医科大学 医学部 腎臓内科学 教授）

共催：株式会社大塚製薬工場

教育講演3　16：50～17：50

座長：髙栁 和伸（倉敷中央病院 薬剤本部）

EL3　有害事象自発報告ビッグデータを用いた医薬品適正使用に係る研究

中村 光浩（岐阜薬科大学）

第3会場（4F 中会議室405）

シンポジウム2　10：40～12：10

オーガナイザー：岡田 賢二（横浜薬科大学 臨床薬剤学研究室）

座長：岡田 賢二（横浜薬科大学 臨床薬剤学研究室）
大石 智洋（川崎医科大学 臨床感染症学教室）

感染症治療薬の安全対策
―症例から見えてきた問題点への対応―

SY2-1　感染症治療薬安全対策部会の活動キックオフ
岡田 賢二　横浜薬科大学 臨床薬剤学研究室

SY2-2　抗菌薬による重大の副作用の症例検討
―検査値異常からの副作用のアプローチ―
平野 公基　社会福祉法人聖隷福祉事業団 聖隷佐倉市民病院 薬剤科

SY2-3　抗菌薬誘発の薬物アレルギーのアプローチと対策
―臨床医の立場から―
大石 智洋　川崎医科大学医科大学 臨床感染症学

SY2-4　抗微生物薬の供給不足に対応した適切な代替薬の選択
上田 真也　国立病院機構 東京医療センター 薬剤部

ランチョンセミナー3　12：20～13：20

座長：岩本 卓也（三重大学医学部附属病院 薬剤部 部長）

LS3　**がん薬物療法の安全性を極める**
～患者とスタッフの双方を守る視点～

野村 久祥（京都大学医学部附属病院 薬剤部）

共催：ニプロ株式会社

教育講演1　13：30～14：30

座長：佐藤 由美子（名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 薬剤部）

EL1　**薬物と性差**

黒川 洵子（静岡県立大学 薬学部 生体情報薬理学分野）

教育講演2　14：30～15：30

座長：佐藤　光利（明治薬科大学 医薬品安全性学教室）

EL2　生体における亜鉛の重要性
～疾患の発症との関連・治療／予防への応用～

西田　圭吾（鈴鹿医療科学大学 薬学部 免疫制御学研究室）

スポンサードセミナー3　15：40～16：40

座長：成瀬　徳彦（名古屋第一病院 薬剤部）

SS3　バイオシミラー（バイオ後続品）への切り替え促進の取り組み
～障害となった問題と対応策～

日比　陽子（名古屋市立大学病院 薬剤部 薬剤部長）

共催：日本化薬株式会社

スイーツセミナー　16：50～17：50

座長：鈴木　昭夫（岐阜大学医学部附属病院 薬剤部）

SWS　してる“つもり”では守れない：抗がん薬曝露の最前線
～医療者と患者家族を見えないリスクから守るために～

前田　章光（愛知県がんセンター 薬剤部）

共催：東和薬品株式会社

一般演題7　18：00～18：48

座長：山中　規明（一宮市立市民病院 薬剤局）
高橋　由加利（春日井市民病院 薬剤局 薬剤科）

［薬剤疫学、副作用、使用状況調査、データベース研究、ベネフィット・リスク評価研究③］

O7-1　JADER に登録された OTC 医薬品に関連する排尿障害の抗コリン薬リスクスケールに基づく評価

田中　博之　　東邦大学 薬学部 実践医療薬学研究室

O7-2　薬剤性ギラン・バレー症候群：日本有害事象データベース（JADER）に基づく発症時期の検討

鳥海　真也　　神奈川病院 薬剤部、明治薬科大学 医療分子解析学研究室

O7-3　JADER を用いたワクチン接種に伴う有害事象報告の実態調査

鎌田　吉宗　　東邦大学 薬学部 実践医療薬学研究室

O7-4　有害事象自発報告データベース（JADER）を用いたβ受容体遮断薬の精神神経系有害事象の検討

山田　一尊　　日本赤十字愛知医療センター名古屋第一病院 薬剤部

第4会場（4F 中会議室409）

一般演題1　10：10～10：58

座長：山﨑 直子（駿甲会コミュニティーホスピタル甲賀病院 薬剤科）
渡邉 学（駿甲会法人本部、コミュニティーホスピタル甲賀病院 医療技術部）

［その他①］

O1-1　ワクチン調製の安全性向上を目指した薬局・病院薬剤師の連携
―筑紫医療圏の新型コロナワクチン接種対応から
宮﨑 元康　福岡大学 薬学部 病院薬学教室、福岡大学筑紫病院 薬剤部、
一般社団法人筑紫薬剤師会

O1-2　実務実習日誌への入力医薬品と薬剤師国家試験の出題医薬品の対応から
薬学生に求められる医薬品安全性の検討
木下 雅子　東邦大学 薬学部 臨床薬剤学研究室

O1-3　安全で円滑な医療提供体制の構築を目指した院内処方における
疑義照会プロトコル導入の効果と今後の課題
吹上 勇真　福岡大学筑紫病院 薬剤部

O1-4　薬局における地域医療情報連携ネットワーク活用実態調査
相宮 幸典　藤田医科大学 医学部 薬物治療情報学講座

一般演題2　10：58～12：10

座長：藤谷 憲一（リラ溝口病院 薬局）
瀧 祐介（菊川市立総合病院 薬剤科）

［症例検討（有害事例、回避事例、等）］

O2-1　HiSAT を用いて特定したフェニトインによる薬疹の1例
安高 勇気　福岡大学 薬学部、福岡大学病院 薬剤部

O2-2　易怒性に対するクロルプロマジン使用中に
重度肝機能障害を来した症状性精神障害の一例
中村 怜　東北医科薬科大学 医学部 精神科学教室、東北医科薬科大学病院 精神科

O2-3　新規抗 HER2ヒト化モノクローナル抗体・ヒアルロン酸分解酵素配合剤の
継続が困難だった1例
萩原 知佳　福岡大学筑紫病院 薬剤部

O2-4　副作用推論　～この血小板減少は薬のせいですか？～
鈴木 孝司　公益財団法人宮城厚生協会 坂総合病院

O2-5　レンバチニブによって血栓性微小血管障害を発症した1例
舟橋 季乃　名城大学 薬学部 医薬品情報学研究室

O2-6　オピオイド鎮痛薬の変更により疼痛コントロール可能となった一例
澁谷 恵美子　IHI 播磨病院

一般演題3　13：30～14：30

座長：安田 浩二（岐阜大学医学部附属病院 薬剤部）
西田 承平（岐阜大学医学部附属病院 薬剤部）

［安全対策・管理（薬局、調剤・注射、製剤、病棟、外来、等）］

O3-1　麻薬滅失事故の発生原因分類と再発防止対策の効果についての調査
冨岡 謙二　山陰労災病院

O3-2　外来化学療法における薬剤師介入の実態とその有用性及び安全性の検討
福江 悠香　福岡大学筑紫病院 薬剤部

O3-3　病院薬剤師業務に伴うインシデント発生状況と背景因子
宇井 あゆ乃　東邦大学 薬学部 実践医療薬学研究室

O3-4　リハビリテーション病院における薬剤使用の実態と転倒・転落に関する後ろ向き研究
齊藤 優海　東邦大学 薬学部 実践医療薬学研究室

O3-5　大阪ファルマプラン副作用委員会　2023-2024のまとめ
岩本 咲央里　大阪ファルマプラン すみれ薬局

一般演題4　14：30～15：18

座長：木村 謙吾（市立四日市病院 薬局）
奥平 正美（知多厚生病院 薬剤部 兼 感染制御部）

［薬剤疫学、副作用、使用状況調査、データベース研究、ベネフィット・リスク評価研究①］

O4-1　医薬品副作用データベースを用いたアルテプラーゼ誘発頭蓋内出血に及ぼす抗凝固薬／抗血小板薬の影響の解析
中井 剛　藤田医科大学 医学部 薬物治療情報学

O4-2　抗精神病薬と心筋梗塞：過去の疫学研究と最近の薬剤疫学的知見
中川 誠秀　東北医科薬科大学 精神科学教室

O4-3　VigiBaseを用いた免疫チェックポイント阻害薬による骨折シグナルの調査研究
家田 諒　藤田医科大学 医学部 薬物治療情報学

O4-4　大阪民医連副作用委員会　～2023年度報告まとめ～
福田 千佳　コープおおさか病院 薬剤科

一般演題5　16：50～17：38

座長：梶間 勇樹（三重ハートセンター 薬局）
谷口 賢二（JA 三重厚生連 松阪中央総合病院）

［ 薬剤疫学、副作用、使用状況調査、データベース研究、ベネフィット・リスク評価研究② ］

O5-1　COVID-19 入院患者におけるモルヌピラビルの安全性評価
―単施設後ろ向きコホート

山田 楊太　福岡大学筑紫病院 薬剤部

O5-2　医薬品副作用データベース（JADER）を用いた
サクビトリルバルサルタンによる脱水発現リスクの解析

折川 隼人　株式会社アインファーマシーズ アイン薬局 東鷲宮店

O5-3　医薬品副作用データベース（JADER）を用いた
抗がん剤による重症皮膚副作用の発現リスク解析

花岡 美早紀　（株）アインファーマシーズ アイン薬局 愛大病院店

O5-4　医薬品副作用データベース及び診療録を用いた BMI による
Enfortumab Vedotin の副作用発現傾向調査

慶 元箕　東京女子医科大学附属足立医療センター 薬剤部、
明治薬科大学 医療分子解析学研究室

一般演題6　17：38～18：50

座長：田宮 真一（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二赤十字病院 薬剤部）
手塚 剛彦（愛知医科大学メディカルセンター 薬剤室）

［ その他② ］

O6-1　佐渡総合病院における
活性型ビタミン D3 製剤適正使用のための取り組みとその評価

森岡 諒　佐渡総合病院 薬剤部

O6-2　炎症性腸疾患患者の生物学的製剤の治療中止に及ぼす因子の検討

中島 章雄　福岡大学筑紫病院 薬剤部、福岡大学 薬学部 病院薬学教室

O6-3　電子処方箋運用に向けたローカル用法と電子処方箋用法の対応状況の調査

寺内 恭平　藤田医科大学 医学部 薬物治療情報学、藤田医科大学ばんたね病院 薬剤部

O6-4　CYP1A2 関連医薬品に対する喫煙の影響を考慮することの重要性

西 桃佳　東京理科大学 薬学部 臨床病態学研究室

O6-5　処方適正化への取り組み

上野 綾海　菊川市立総合病院 薬剤科

O6-6　医薬品添付文書と当院電子カルテにおける牛乳成分情報の調査

佐田 光　岡山大学病院 薬剤部

第2日目　2025年8月3日（日）

第1会場（4F 大会議室407）

シンポジウム6　9：30～11：00

オーガナイザー：菅　裕亮（（株）なの花北海道 なの花薬局 若草店、（株）メディカルシステムネットワーク 学術部）

座長：濃沼　政美（帝京平成大学 薬学部 医薬品安全性評価学ユニット）
菅　裕亮（（株）なの花北海道 なの花薬局 若草店、（株）メディカルシステムネットワーク 学術部）

探索から検証へ
～副作用データベースにおける実践的アプローチ～

SY6-1　副作用データベース研究のこれから：探索から検証へ

濃沼 政美　帝京平成大学 薬学部 医薬品安全性評価学ユニット

SY6-2　臨床現場からはじまる副作用データベース解析

菅 裕亮　（株）なの花北海道 なの花薬局若草店、
（株）メディカルシステムネットワーク 学術部

SY6-3　仮説生成のその先へ：
リアルワールドデータを活用した仮説検証に基づく医薬品安全性評価

岡田 直人　山口大学医学部附属病院 薬剤部

SY6-4　医療情報を用いた副作用・薬効予測とその臨床応用

濱野 裕章　岡山大学学術研究院 医療開発領域 薬剤部、
九州大学システム情報科学研究院 学際情報学特別部門

スポンサードセミナー4　11：05～12：05

座長：外山 聡（新潟大学医歯学総合病院 教授・薬剤部長）

SS4　バイオシミラーの理解・使用促進に向けた展望と課題

内田 まやこ（九州大学病院 薬剤部教授・薬剤部長）

共催：サンド株式会社

ランチョンセミナー4　12：15～13：15

座長：加藤　さや香（藤田医科大学病院 薬剤部 副部長）

LS4　レカネマブ投与におけるシステム構築と意思決定支援について
～当院の取り組みを踏まえて～

野々垣　禅（JA 愛知厚生連海南病院 老年内科）

共催：エーザイ株式会社

シンポジウム8　13：20～15：20

オーガナイザー：薄井　健介（東北医科薬科大学 薬学部 病院薬剤学）
三輪　高市（鈴鹿医療科学大学大学院 薬学部 薬学研究科 薬学科）

座長：山田　和男（東北医科薬科大学 医学部）
三輪　高市（鈴鹿医療科学大学大学院 薬学部 薬学研究科 薬学科）

認知症薬物治療のアップデート
―薬物治療の適正化を思考して―

SY8-1　認知症薬物療法の近況

三輪　高市　　鈴鹿医療科学大学大学院 薬学部 薬学研究科 薬学科

SY8-2　モノクローナル抗体製剤の使用状況と注意すべきポイント

別所　千枝　　JA 広島厚生連尾道総合病院 薬剤科

SY8-3　認知症治療における貼付剤の意義と安全性

和田　智仁　　社会医療法人居仁会 総合心療センターひなが 診療技術部 薬剤課

SY8-4　認知症患者の“行動”にどう向き合うか
―BPSD の薬物療法とそのリスクマネジメント

中村　友喜　　三重県立こころの医療センター 診療技術部／感染管理室

第2会場（4F 中会議室408）

シンポジウム7　9：30～11：00

オーガナイザー：杉山 奈津子（国際医療福祉大学 薬学部）
小茂田 昌代（医療法人徳洲会 千葉西総合病院 薬剤部）
岸 達生（公益財団法人日本薬剤師研修センター）

座長：出雲 貴文（医療法人徳洲会 千葉西総合病院 薬剤部）
岸 達生（公益財団法人日本薬剤師研修センター）

研究者と現場薬剤師のⅠ型・T 型・H 型人材が協働するとどうなる？
～帯状疱疹治療薬の安全性を極める！

SY7-1　構造式から考える帯状疱疹治療薬の化合物特性

頓宮 美樹　株式会社 la vita

SY7-2　薬物相互作用を予測する
～基礎の知識を臨床につなげる

宗像 千恵　国際医療福祉大学 福岡薬学部、医療法人社団高邦会 高木病院 薬剤部

SY7-3　知ってますか？脳症と脳炎の違い！

小茂田 昌代　医療法人徳洲会 千葉西総合病院 薬剤部

SY7-4　基礎薬学的特性を臨床で活用する（協働作成資料の紹介とその活用）

長澤 宏之　セコム医療システム株式会社、
一般社団法人日本医薬品安全性学会 医薬品副作用部会、
一般社団法人日本アカデミック・ディテーリング研究会

SY7-5　「帯状疱疹治療アカデミック・ディテーリングによる
患者リスク低減プログラム」の実践

杉山 奈津子　国際医療福祉大学 薬学部

スポンサードセミナー5　11：05～12：05

座長：小林 亮（岐阜薬科大学 先端医療薬学研究室）

SS5　集中治療室における薬剤師の役割とその重要性：
チーム医療の中の欠かせない存在へ

原 嘉孝（藤田医科大学 医学部 麻酔・集中治療医学講座）

共催：旭化成ファーマ株式会社

ランチョンセミナー5　12：15～13：15

座長：高見 昭良（愛知医科大学 血液内科 教授）

LS5　安全性をどう守る？
多発性骨髄腫治療と薬剤師の臨床力

池末 裕明（名古屋大学医学部附属病院 薬剤部 教授・薬剤部長）

共催：富士製薬工業株式会社

シンポジウム9　13：20～15：20

オーガナイザー：廣田 憲威（一般社団法人 大阪ファルマプラン）

座長：山﨑 美保（独立行政法人労働者健康安全機構 長崎労災病院 薬剤部）
神原 弘恵（尾道市立市民病院 薬剤部）

一つ一つの薬を評価する、それが私たちの使命です！
～ポリファーマシー解消の第一歩～

SY9-1　薬局の限られた情報から処方内容を評価する

杉本 陵　　ウエルシア薬局

SY9-2　Deprescribing 実践プロトコルに基づく薬剤師の介入が有用であった一症例

柳下 博信　　秋田大学医学部附属病院 薬剤部

SY9-3　薬学的視点×モダリティ×身体所見で副作用を評価し薬物療法の適正化

佐古 守人　　医療法人橘会 東住吉森本病院

SY9-4　ポリファーマシー対策の第一歩
～患者の暮らしに寄り添う薬物療法の見直し～

武藤 浩司　　新潟市民病院 薬剤部

第3会場（4F 中会議室405）

教育講演4　9：00～10：00

座長：山田 成樹（藤田医科大学 医学部 薬物治療情報学講座、藤田医科大学病院 薬剤部）

EL4　薬剤師に期待する：Pharmacist/Scientist の視点を持つ

鍋島 俊隆（特定非営利活動法人 医薬品適正使用推進機構（NPO J-DO) 前理事長、
藤田医科大学大学院 客員教授、国際脳科学研究所アドバイザー、名古屋大学、
アレキサンドル・イワン・クザ大学（ルーマニア）名誉教授）

教育講演5　10：00～11：00

座長：古関 竹直（藤田医科大学医療科学部 研究推進ユニット レギュラトリーサイエンス分野）

EL5　医薬品の安全性データを読み解く
―臨床試験、疫学研究、そして実臨床でできること―

中林 哲夫（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 健康被害救済部）

スポンサードセミナー6　11：05～12：05

SS6　わが国の安全保障と医薬品

田前 雅也（Meiji Seika ファルマ株式会社）

共催：Meiji Seika ファルマ株式会社

ランチョンセミナー6　12：15～13：15

座長：瀧 祐介（菊川市立総合病院 診療技術部 薬剤科 科長）

LS6　粉砕不適薬剤の粉砕を未然に回避するための取り組みと解決法
～多職種の職能・専門性・想いを相互に理解し合う連携のコツ～

鈴木 慶介（台東区立台東病院・老人保健施設千束 薬剤室 室長）

共催：日医工株式会社

企画演題抄録

理事長講演

教 育 講 演

シンポジウム

ランチョンセミナー

スポンサードセミナー

スイーツセミナー

BP 賞候補演題抄録

一般演題抄録

次回大会



患者中心の医薬品安全性：
共創と未来への挑戦

第12回
日本医薬品安全性学会学術大会

The 12th Annual Meeting of
Japanese Society of Drug Safety

2026年7月18日(土)～19日(日)

会場 **アクロス福岡**
〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1丁目1−1

会長 **今給黎 修**
福岡大学薬学部　教授/福岡大学筑紫病院　薬剤部長

大会事務局
福岡大学筑紫病院
〒818-8502　福岡県筑紫野市俗明院1丁目1番1号

運営事務局
株式会社JTBコミュニケーションデザイン コンベンション第二事業局 内
〒810-0072　福岡市中央区長浜1-1-35 新KBCビル4階
E-mail: jasds2026@jtbcom.co.jp

https://www.jasds2026.org/

第11回日本医薬品安全性学会学術大会
プログラム・抄録集

発行日：2025年8月2日

定　価：2,000円（税込）

大会事務局：藤田医科大学病院 薬剤部内
〒470-1192　愛知県豊明市沓掛町田楽ケ窪1番地98
TEL：0562-93-2111（代表）

運営事務局：ちたクリエイティブ株式会社
〒456-0055　名古屋市熱田区南一番町6-23-1
TEL：052-387-5228
E-mail：jasds2025@c-bind.jp

出　　版：株式会社セカンド
〒862-0950　熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793　FAX：096-386-2025
https://secand.jp/

※許可なく転載・複製することを禁じます。